

課題NO.1 中山間地域農業を支える地域営農体制の構築

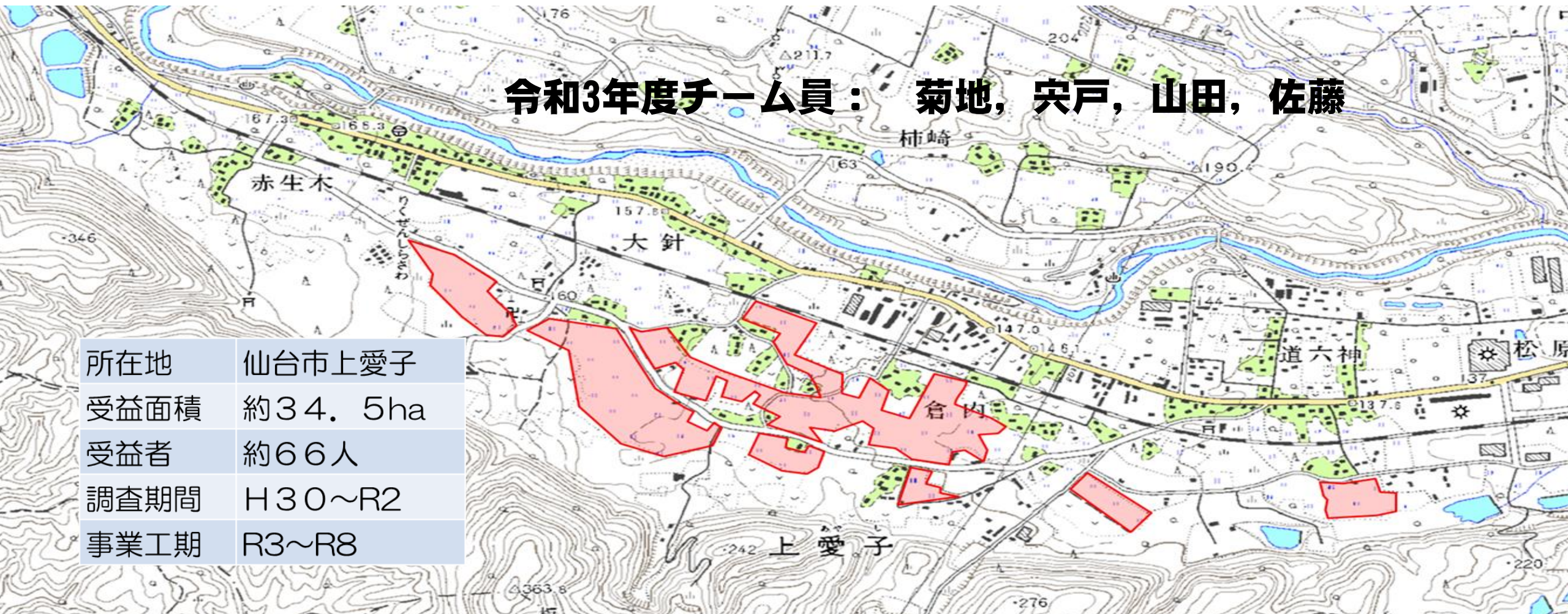
(「中間管理事業」「中山間地域振興」関連課題)

計画期間：令和元年度から令和3年度まで

対象者：倉内・大針農村地域活性化委員会地域営農部会6人

令和3年度チーム員： 菊地， 宍戸， 山田， 佐藤

所在地	仙台市上愛子
受益面積	約34.5ha
受益者	約66人
調査期間	H30~R2
事業工期	R3~R8



1 課題の背景・ねらい

<背景>

- ① 倉内・大針地区（仙台市西部）は、高齢化による担い手不足、耕作放棄地の増加等の中山間地域特有の課題に直面している。
- ② 平成29年7月に「倉内・大針農村地域活性化委員会」を設立し、農業競争力基盤整備事業実施に向け取り組んでいる。
- ③ 令和4年度から始まる工事前に持続的に集落営農を担う組織の設立と導入作物を決定し、工事終了後には新たな地域営農をスタートさせる計画。

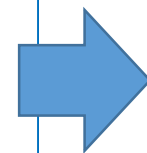
<ねらい>

- ① 基盤整備後に導入される園芸作物の品目を決定するとともに技術習得が図られる。
- ② 地域を支える集落営農組織が設立され、持続的な営農体制が構築される。

数値目標：基盤整備後作付け品目の決定:

H30 無し → **R元**：1品目 → **R2**：2品目 → **R3**：3品目

（実績：1品目（長ねぎ））（実績：2品目（玉ねぎ））（実績：2品目（ジャンボにんにく））



長ねぎ
玉ねぎ
ジャンボにんにく

2 活動内容及び成果

①導入予定品目の栽培技術支援

主な活動内容

<玉ねぎ>

- ・玉ねぎの育苗に係る技術支援（令和元年度）
- ・玉ねぎの機械定植作業支援（令和元，2，3年度）
- ・玉ねぎの肥培管理技術支援（令和元年，2年度）
- ・玉ねぎの乾燥調整に係る体制整備支援（令和2年度）
- ・玉ねぎの収益性や作業性を検討（令和元年度）

<長ねぎ>

- ・長ねぎの育苗に係る技術支援（令和元年度）
- ・長ねぎの定植作業支援（令和元年，2年，3年度）
- ・長ねぎの肥培管理技術支援（令和元年，2年度）
- ・長ねぎの収穫・販売活動支援（令和元年，2年，3年度）
- ・長ねぎの収益性や作業性を検討（令和2年度）
- ・長ねぎ栽培先進経営体調査支援（令和元年度）

<ジャンボにんにく>

- ・ジャンボにんにくの販売先等の検討支援（令和元年度）
- ・種子播種にかかる圃場準備支援（令和元年，2年度）
- ・ジャンボにんにくの収益性を検討（令和3年度）



玉ねぎ苗の機械定植



玉ねぎの収穫作業



長ねぎの育苗



長ねぎの定植



ジャンボにんにくの播種



ジャンボにんにくの乾燥

活動成果

期待される対象の変化：
基盤整備後に導入される園芸作物の品目を決定するとともに技術習得が図られる

3品目についての3年間の活動により技術習得は、失敗を重ねながらも確実にされており、(農)うえずとファーム仙台では、農地整備後の栽培品目として栽培を予定している。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
基盤整備事業内容	新規受託調査希望		採択申請	事業採択 (調査, 測量, 実施)	工事(一)	工事	工事	工事, 補完工事	換地	換地精算
たまねぎ		※3a栽培 農園研の支援を受け機械栽培を体験		※ほ場を換え20a栽培拡大 JA仙台と連携し機械栽培を実施					4haほ場(畑地)で園芸作物栽培予定。今後のどの品目をどのくらい栽培するか検討予定	
ジャンボにんにく		※2a栽培 近隣の法人との連携による試験的栽培								
長ねぎ	※2a栽培	※10a栽培 農地整備の受益者の目につく場所		※9a栽培 JA仙台と連携し水田ほ場で栽培						

2 活動内容及び成果

②集落営農組織（法人）運営支援

主な活動内容

●地域内の合意形成支援

- ・ 倉内・大針地区活性化委員会定例会（毎月開催）において集落営農組織づくりに係る研修を実施（令和元年から2年度）
- ・ 山形県の集落営農先進地視察（令和元年度）
- ・ 農地整備事業実施に関する集落説明会毎に中心経営体としての法人設立の必要性を説明（令和元年，2年度）

※法人設立発起人が選定されてからは発起人が説明。その説明を支援



農地整備事業説明会



倉内・大針地区活性化委員会定例会



活性化委員会を対象にした先進地視察研修

2 活動内容及び成果

②集落営農組織（法人）運営支援

主な活動内容

●中心経営体として農事組法人設立及び運営支援

- 集落営農の法人化に向けて、集落内アンケート実施。アンケート結果を基に発起人7名，構成員予定者17名による推進体制づくりを支援（令和元，2年度）。
- 法人化に向けたスケジュールを提示するとともに，発起人会で作成する農事組合法人設立にむけた「目論見書」「定款」等作成支援（令和2年度）。
- 農業経営相談所の重点指導農業者として，法人化に必要な知識習得に向け，税理士，司法書士の派遣による勉強会を開催（令和2年度）。
- 令和3年1月24日（日）農事組合法人うえずとファーム仙台設立総会開催支援
- 具体的な運営手法を学ぶため丸森町（（農）伊手ファーム（農）農事組合法人羽山の里佐野に視察研修会実施



税理士による勉強会



法人設立に向けた発起人会



法人設立総会



法人運営視察研修会

活動成果

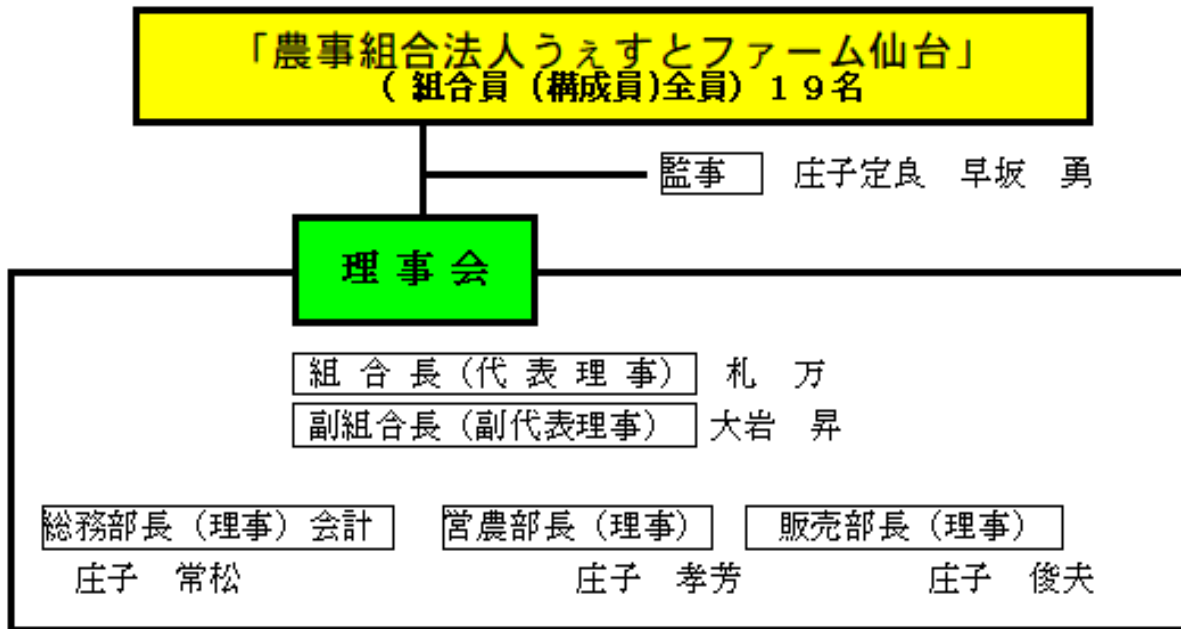
期待される対象の変化：
 地域を支える集落営農組織が設立され、持続的な営農体制が構築される。

※農事組合法人うえすとファーム仙台設立

設立日：令和3年2月5日



＜組合の組織図＞



収支計画 (当組合の中期5ヶ年収支計画書)

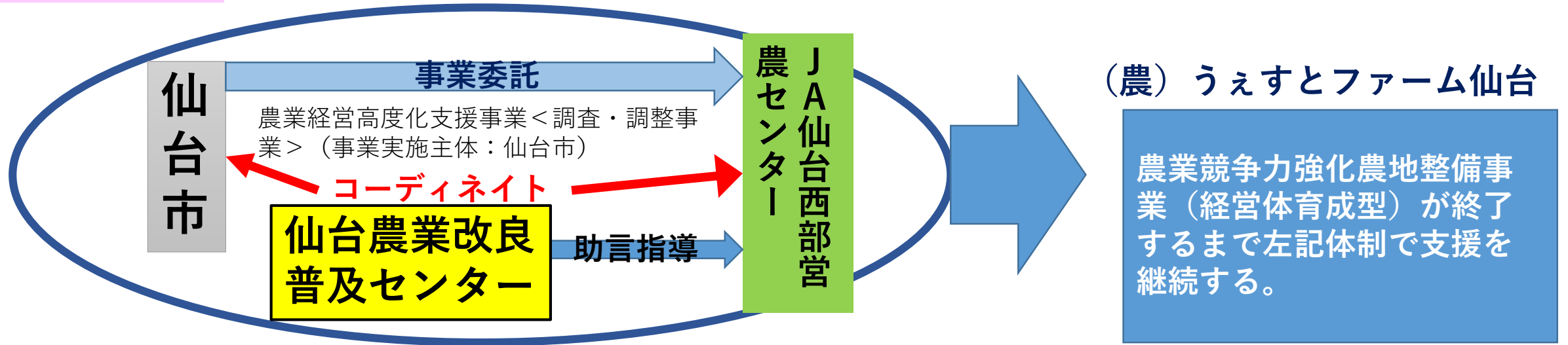
	R3(1期)	R4(2期)	R5(3期)	R6(4期)	R7(5期)
法人経営面積(畑地35a)		法人経営面積(畑地50a) 工事面積(3ha)	法人経営面積(10ha, 畑地50a) 工事面積12ha)	法人経営面積(21ha, 畑地60a) 工事面積(13ha)	法人経営面積(24ha, 畑地4ha)
粗収益	1,926,000	3,152,000	16,227,000	31,309,500	60,280,000
固定費	212,967	254,612	2,835,638	5,704,766	7,867,187
資材等	1,101,617	1,725,928	9,560,275	18,478,057	34,546,738
水利費	0	0	1,000,000	2,100,000	2,400,000
雇用労賃	0	0	0	0	0
交付金等			—		0
農業所得	611,416	1,171,460	2,831,087	5,026,676	15,466,075

単位:面積(a), 金額(円)

このデータを元に農業経営改善計画認定申請書を作成し、令和3年5月1日に仙台市の**認定農業者**になる。

活動成果

持続的な営農体制を支援する関係機関の連携体制が構築される。



令和4年度以降の支援について

普及センターの重点活動に位置づけ下記支援を継続する予定

高収益作物栽培技術支援

中心経営体への経営管理支援

地域営農システムの構築支援